

地区職業奉仕委員会活動報告

得居ガバナーの年度要望事項として、綱領の推進と併せて職業奉仕の更なる推進を掲げてくれ、クラブ会員の研修によるクラブのサポートと強化を示してくれました。

地区職業奉仕委員会としましては、得居ガバナーの指導のもとに、「職業奉仕に生きること話し合い語りあおう」のテーマを掲げました。 先ずは近隣 2 分区ごと 7 回の委員長セミナーを企画し、その後に各分区ガバナー補佐さんに主催して頂き、14 回のロータリー情報研究会の開催を活動の柱としました。

◆2 分区合同クラブ職業奉仕委員長セミナー

1 回目	第 10 分区+第 11 分区	2012-7-17	ウイシュトンホテル	12RC	35 名
2 回目	第 3 分区 A+第 3 分区 B	2012-8-7	五井グランドホテル	13RC	37 名
3 回目	第 12 分区+第 13 分区	2012-8-9	茶豆蘭	10RC	31 名
4 回目	第 4 分区+第 5 分区	2012-22	ロイヤルヒルズ木更津	14RC	52 名
5 回目	第 1 分区+第 2 分区	2012-8-28	市川商工会議所	12RC	35 名
6 回目	第 8 分区+第 9 分区	2012-9-7	成田ビューホテル	10RC	29 名
7 回目	第 6 分区+第 7 分区	2012-9-14	東金商工会議所	13RC	29 名

各クラブから職業奉仕委員長さんを中心に、会長幹事の皆さんや情報委員長の皆さんも交わってくれ、テーブルごとに双方向意見交流ができました。

地区委員がテーブルマスターになって、胸襟を開いた双方向意見交流に傾注しました。 当然のこと不慣れから戸惑いや脇道に外れる一時もありましたが、地区委員会が作成し、各クラブ職業奉仕委員長さんに配布をしました、「四つの挿話」を題材に、職業人としての生きざまを意見交流に反映すべき主旨を、ご理解願いました。 我々ロータリアンは職業人として、定款第 8 条の職業分類によって選ばれている誇りを再認識することができました。 他クラブの異業種の委員長さんとの意見交流を通して、職業人としての心構えが、時間経過とともに活発にできました。

◆ロータリー情報研究会

1 回目	第 3 分区 B	2012-9-11	五井グランドホテル	6RC	89 名
2 回目	第 12 分区	2012-9-19	松戸商工会議所	5RC	80 名
3 回目	第 1 分区	2012-9-25	市川商工会議所	6RC	56 名
4 回目	第 3 分区 A	2012-9-28	ホテルニューオータニ	7RC	88 名
5 回目	第 7 分区	2012-10-7	匝瑳市公民館	4RC	50 名
6 回目	第 6 分区	2012-10-12	東金商工会議所	6RC	40 名
7 回目	第 8 分区	2012-10-14	多古コミュニティープラザ	4RC	35 名
8 回目	第 10 分区	2012-10-16	廣池学園麗澤大学	5RC	103 名
9 回目	第 9 分区	2012-10-18	ラディソンホテル	6RC	105 名

10回目	第11分区	2012-11-6	ウイシュトンホテル	5RC	117名
11回目	第13分区	2012-11-9	クリアビューホテル	5RC	103名
12回目	第2分区	2012-11-14	フローラ西船	6RC	93名
13回目	第5分区	2012-11-20	鴨川館	6RC	64名
14回目	第4分区	2012-11-28	ロイヤルヒルズ木更津	8RC	67名

各分区のガバナー補佐さんの主催するロータリー情報研究会は、県内のクラブメンバーの方々と直接お会いでき、分区によって土地柄が強く繁栄する生業をもたれた、地域特有の歴史を重く感じる場面が多々ありました。各テーブルマスターはクラブ委員長さんにお願し、委員長セミナーで体験された手腕を大いに発揮して頂きました。この目的はクラブ内での双方向意見交流を隆盛にして頂くための活性化であります。会員が生業とする職業に如何に対峙して、社会の為に役立つ思い遣りのある人間性の向上を目指し、クラブ例会に於いて切磋琢磨して頂けるかを、双方向意見交流の柱として構築することを願いました。綱領の理解や四つのテストの活用が、思っていた以上に実践されていて、会員自身の事業所で活用されていたことが新鮮に感じ、改めて職業奉仕の理念の大切さを理解し共有することができたと、委員会としても嬉しい効果に安堵しています。

◆地区委員会活動総評

8月から11月までの4カ月をかけて、**クラブ委員長セミナーとロータリー情報研究会**を開催運営することができ、まずは主催をして下さった各14分区ガバナー補佐の方々に御礼を申し上げます。またこうした双方向意見交流の場を、各分区で開催する機会を与えて下さった得居ガバナーに感謝をし、硬い絆に結ばれて一緒に活動した4人の委員の皆さんに心からの御礼をお伝えしなければいけないと思います。

一言では言いきれませんが、21回に及ぶ地区委員会活動の中から、多種多様の価値観と言う言葉そのものを体験できた、ものすごく奥行きと幅が或る活動であったと感じています。

併せて各分区には素晴らしい仲間がいることが実感され、個性をもった異業種の職業人が集うロータリーの大きさを体感でき、ロータリー活動に新たな価値観を持つこともできました。どこの分区でも、お互い胸襟を開いて職業奉仕について話し合える環境が希薄になっていることを痛感することができましたが、クラブ例会でのコミュニケーションの陳腐化が懸念されました。今回の委員会活動がされた双方向意見交流の認識から、真摯になって、ご自身の職業に生きている姿を、話し合い語り合いすることの効果貴重であることを証明できました。

こうした生き生きとした活発な意見交流を通して、話し合い語り合う価値ある一石を投げられたように、委員会として自負をしているところです。

双方向の意見交流が一方向的な発表会になったケースも多々見受けられましたが、双方向意見交流が、自身の意見を発表する習慣とその醍醐味を感じてもらえる、効果的な機会であることを認識できたと思っています。通算して参加された累計人数がクラブ委員長セミナーで凡そ220名、ロータリー情報研究会が1,100名くらいになりますが、これを機会にして、クラブ例会での双方向意見交流を盛んにして頂き、職業奉仕やロータリーを理解し学ぶことを継続することで、一層のロータリーライフが意義あるものに進化でき、クラブ例会の活性化が図れるとことを信じております。前段として行った2分区ごとの職業奉仕委員長セミナーが、如何に有益で効果的な活動であったか、情

報研究会を運営して改めて感じられたことであります。このクラブ委員長セミナーの存在がなかったら、情報研究会の効果も半減したかも知れないと危惧したほどでした。二つの活動を通して反省点も多くあって、1テーブルに参加できる人数はできれば6人位が最善ではありますが、現実には10名から最大で20名着座した分区もありました。ただし、会場設営で大変にご尽力をされたガバナー補佐の皆さんには予算面のご苦勞もあり、地区委員会からの無理なお願いにご配慮下さったことに感謝なのですが、心中辛いところでもありました。

結果的には、多くの方々から双方向意見交流のスタイルをもって、「職業奉仕に生きること話し合い語り合おう」の意味合いを理解して頂き価値を認めてくださいました。今まで一言でもって分かりづらいつと斜視していた職業奉仕の一端を、自身が携わる職業を再認識し価値を高める手法として、仲間と伴になって、自身の頭で考え意見を述べる機会が持てたことに、今回の評価を見出してくれているとのありがたい反響を頂きました。

今回双方向意見交流の一石を投じた波紋が、時間経過とともに成果をもって広がることを期待し、クラブでの実践に少しでも寄与できることを、各クラブ委員長さんに期待をしているところでありますし、毎クラブ例会時に於いてのクラブ委員長さんの奮闘を願ってまいります。今年、得居ガバナー年度地区委員会活動の波紋が広がり、少しでもクラブ会員の意識高揚とレベルアップに結び付くことを心から念じていますし、何よりも職業奉仕が肝心要であることの再認識から、会員の事業繁榮に寄与できる実践となってほしいものです。委員会として主催した計7回の2分区ごとのクラブ委員長セミナーと、運営した計14回の各分区ロータリー情報研究会は、失敗や反省点も数多くありましたが、予定した事業を完遂できたことには、翻ってみれば私達地区委員会一同が、最高の幸せ者である立場を与えて頂いたことを悟っています。委員会活動をすべてに支えて下さった、関係者の皆様に感謝の念の思いで一杯であります。胸襟を開いての双方向意見交流によって、職業人としての誇りと自信が生まれ、世の為人様の為に役に立つ心得を切磋琢磨させる学びは貴重でした。尊敬される職業人としての姿勢から、自らの商売繁盛に繋がる職業奉仕の真実は、綱領第2項に書かれているそのものであることを、多くの皆さんと一緒に共有することができ、とても良い機会でありました。改めて、綱領をしっかりと理解し、四つのテストを上手に活用させ、A・Fシェルドンが論じた、最もよく奉仕をする者最も多く報いられる超我の奉仕を实践させて、是非是非多くのお仲間と伴に素直に奉仕の理想を享受していきたいものです。

地区職業奉仕委員会 2012-12-22

堀内正一(木更津) 松田泰長(成田) 高梨昇一郎(野田) 飯合幸夫(柏西) 海寶勘一(千葉西)